

# 迎春



嶺北消防組合出初式

## あわら 市議会だより

第19号

平成21年  
1月15日 発行



芦原北幼稚園 もちつき大会

### おもな項目

1 2月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	7p
議会日誌・ふるさと探訪	12p



教育厚生常任委員会

雲雀ヶ丘寮の

特別委員会報告

## 臨時議會

ての問いには、滞納世帯は一千三百世帯になるとのことです。

●一般会計補正予算

何かとの問い合わせには、休日でも夜間10時まで開館しており、市職員もいることから簡単な操作方法やトラブルにも対応でき便利性を高めることで普及に努めたいとのことで

行率を高めるため、市民課の窓口業務でも積極的にP.R.し、坂井市、福井市が加入してもらえるよう努力したことで、118人になること

● 国民健康保険特別会計  
補正予算  
国保の滞納状況について

決算審査特別委員会

指摘事項

一般會計

会計名		歳入総額	歳出総額	平成20年度へ繰り越すべき財源	実質収支額(実際に残るお金)
一般会計		118億 289万円	114億 7,115万円	1,585万円	3億 1,589万円
特別会計	国民健康保険	30億 9,805万円	30億 6,533万円		3,272万円
	老人保健	36億 3,634万円	36億 6,675万円		△3,041万円
	金津雲雀ヶ丘寮	11億 8,909万円	11億 580万円	470万円	7,859万円
	農業集落排水	7,763万円	7,709万円		54万円
モーターポート競走		20億 9,439万円	20億 9,346万円		93万円
企業会計	公共下水道事業	収益的	12億 441万円	11億 8,331万円	2,110万円
		資本的	16億 9,679万円	20億 1,431万円	△3億 1,752万円
	水道事業	収益的	8億 9,355万円	8億 8,916万円	439万円
		資本的	2億 1,574万円	4億 1,403万円	△1億 9,829万円
	工業用水道事業	収益的	1,077万円	924万円	153万円
		資本的	0円	692万円	△692万円
	芦原温泉財産区	収益的	1億 5,802万円	1億 7,109万円	△1,307万円
		資本的	278万円	5,013万円	△4,735万円

「和の心」ノハシノ語り  
億7千895万8千円で、  
前年度比13%の増加と  
なり、今後とも収納対策  
の強化を強く望む。

また、今後まちづくり  
に要する各種施策の推進  
などにより、総務省が示  
す「早期健全化基準」を  
今年はクリアしたものと  
指標の悪化が想定される  
ことから、地方債計画の  
策定や適債事業の厳選な

害や水質浄化対策、有害鳥獣対策の積極的な対応や農地・水・環境保全局による支援事業補助金の有効活用などを望む。

市民体育祭の実施方法やスポーツ少年団における適正な活動の指導など十分検討を望む。

また金津創作の森財團に於いては、貸付金回収に関する問題が発生した。このほか、北潟湖周辺の海岸やおひこ三育院、研修会館の運営問題等が発生した。

なつており、適正受診  
推進などきめ細かい保  
指導に不断の努力を望む

●モーターボート競走特別会計の努力を望む。

＜平成19年度 会計決算状況＞

●自転車等の放置の防止について  
に関する条例の制定につ  
ての問い合わせは、滞納世帯  
は一千30世帯になると  
のことです。

市役所内に設置の自動交付機

去る11月19日に委員会を開催し、「湯けむり創生塾」の運営状況について、創生塾のメンバーやの出席を求め協議しました。

はじめに、前田塾長から立ち上げ当初からの苦労話をはじめ、「湯めぐり手形事業」や「屋台村事業」が順調に運営している旨の説明がありました。

屋台村については、客層はまだ地元の方が多く、宿泊客は3割程度と見ているが、週末には入れない状態があるので温泉街のお店への波及効果につなげたいと考えている。また、屋台村は宿泊客の方々に温泉街へ出かけるスポットとして紹介できるものができたと認識している。

「湯めぐり手形事業」については、内湯を使っている関係で、各旅館大変なご協力をいただいているが、旅館によつては都が悪く入れない場合もあると思うが、今後ともこの事業を続けていこうという気持ちで一致するとのことでした。

また、補助事業が終る来年度以降の創生塾運営については、「おえる座」の充実を図ながら坂井市との広域携にも取り組みたいとのことでした。

その他、インバウンドの重要性や温泉街の整備など、「湯めぐり創生塾」の取り組みを機に芦温泉の今後のあり方等について有意義な議論がされました。

去る11月17日に第34回臨時議会が開催され、専決処分の報告と一般会計補正予算の議案が上程され、可決されました。

一般会計補正予算で、芦原・金津両中学校の整備に関する基本計画設計業務委託料1千500万円は、リニアリアル工事（改修及び耐震補強）をベースとした両中学校の整備のための基本設計委託料です。

その他、旧芦原町舎の耐震診断委託料627万3千円は、今後、解体も含めた利活用を検討するために必要であるとのことです。

まちづくり調査特別委員会

に第34回臨時議会  
が開催され、専決

●一般会計補正予算 市民生活課所管では、セントピアあわらに自動交付機を設置する目的は何かとの問い合わせには、休日でも夜間10時まで開館しており、市職員もいることから簡単な操作方法やトラブルにも対応でき利便性を高めることで普及に努めたいとのことで及に努めたいとのことです。

また、ICカードの発行率を高めるため、市民課の窓口業務でも積極的にP.R.I.、坂井市、福井市が加入してもらえるよう努力したいとのことです。

福祉課所管では、生活保護費の支給世帯は何世帯あるのかとの問い合わせには、9月末現在で95世帯、118人になるとのことです。

国保の滞納状況について  
補正予算

●自転車等の放置の防止について  
に関する条例の制定につ  
ての問い合わせは、滞納世帯  
は一千30世帯になると  
のことです。

市役所内に設置の自動交付機

去る11月19日に委員会を開催し、「湯けむり創生塾」の運営状況について、創生塾のメンバーやの出席を求め協議しました。

はじめに、前田塾長から立ち上げ当初からの苦労話をはじめ、「湯めぐり手形事業」や「屋台村事業」が順調に運営している旨の説明がありました。

屋台村については、客層はまだ地元の方が多く、宿泊客は3割程度と見ているが、週末には入れない状態があるので温泉街のお店への波及効果につなげたいと考えている。また、屋台村は宿泊客の方々に温泉街へ出かけるスポットとして紹介できるものができたと認識している。

「湯めぐり手形事業」については、内湯を使っている関係で、各旅館大変なご協力をいただいているが、旅館によつては都が悪く入れない場合もあると思うが、今後ともこの事業を続けていこうという気持ちで一致してのことでした。

また、補助事業が終る来年度以降の創生塾運営については、「おえる座」の充実を図ながら坂井市との広域携にも取り組みたいとのことでした。

その他、インバウンドの重要性や温泉街の整備など、「湯めぐり創生塾」の取り組みを機に芦温泉の今後のあり方等について有意義な議論がわれました。

去る11月17日に第34回臨時議会が開催され、専決処分の報告と一般会計補正予算の議案が上程され、可決されました。

一般会計補正予算で、芦原・金津両中学校の整備に関する基本計画設計業務委託料1千500万円は、リニアリアル工事（改修及び耐震補強）をベースとした両中学校の整備のための基本設計委託料です。

その他、旧芦原町舎の耐震診断委託料627万3千円は、今後、解体も含めた利活用を検討するために必要であるとのことです。



のある方に対する接種料金の一部として、1人につき一千五百円の助成を行うこととし、接種の周知を図っています。また、乳幼児についても、接種料金の一部助成を検討したいと考えています。

金融危機による市民生活への影響について

定額給付金についてどのような期待をもつているのか

プロジェクトチームを立ち上げるなど体制作りについて

宮崎 修 議員

経済対策である定額給付金について

女性サポートの認識と対応について

男女共同参画を推進する地方自治体の役割と対応について

環境省のモデル事業「エコ・ポイント」の取り組みについて

「健康バスポート」実現に向けた考え方について

妊婦健診の拡充策の取り組みについて

妊婦の救命救急体制の現状と課題について

周産期医療と妊婦の救命救急体制について

市内の取り組みとしては、母子健康手帳を発行し、妊婦健診の定期的受診勧奨とともに、かかりつけ医の状況、妊婦の健康状態等を把握し、必要な方へは市保健師による家庭訪問や相談事業を実施し、妊婦への支援を行っています。

なお、ご提案のプロジェクトチームの立ち上げについて、現在のところは総務課において対応させていますが、今後、諸問題を整理していく中で、関係各課と連携させながら万全の体制を取りたいと考えています。

妊婦健診の拡充策は、第1子・第2子についても、健診助成回数の拡充を検討したいと考えています。

周産期医療と妊婦の救命救急体制について、市の取り組みとしては、母子健康手帳を発行し、妊婦健診の定期的受診勧奨とともに、かかりつけ医の状況、妊婦の健康状態等を把握し、必要な方へは市保健師による家庭訪問や相談事業を実施し、妊婦への支援を行っています。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

丸谷浩一 議員

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

地元集落では、塩害の影響を少しでも回避しようと、次年度の転作田として、当該水田に麦の作付けを行っているところです。

市としては、当面、この作付け体系を見守りながら、関係機関とともに、適切な指導に心がけたいと考えて



YONETU-KANささおか

問

- ・YONETU-KANささおかの休館について

答

去る12月1日に開催された組合議会において、出来るだけ早期に営業を再開したいとの報告がされました。工期は5ヶ月程度を要する見込みです。休館についての広報は、広域圏の事務局では、記者クラブを通して一般紙に掲載を依頼しています。また、市でも、行政チャンネルや広報11月号への掲載のほか、コミュニティバス内、また、自家用車での来館者のために進入路付近と施設玄関前に「お知らせとお願い」の掲示を行っています。



塩分濃度の高かった北潟湖

議を重ね、一定の方針性が得られるよう努力します。

**■国保税引下げと資格証発行停止について**

- ・高齢者や障害者への灯油配達料助成について
- YONETU-KANささおかの休館について

山川知一郎 議員

- ・国保税が高すぎると思うがどう考えるか。
- ・滞納世帯数と割合、その中で資格証発行世帯数と割合について
- ・資格証発行世帯中、20歳未満の子どもは何人か
- ・資格証発行はやめるべきと考えるがどうか。

原則として未使用の回数券については、清掃センターにおいて随時換金に応じていることです。

新たな作物として、ヒマワリは觀賞用としてのイメージがありますが、世界的には重要な「油糧作物」であり、近年は品種改良も進み、国内においても油糧用としての生産が盛んに行われています。

しかし、先行事例を見ると、搾油の外注費によるコスト増から、他の販売者との間に価格差が生じ、搾油のための設備投資や生産技術の向上が大きな課題となっているようです。

いずれにいたしましても、早期の用水の手立ては極めて困難であり、所得的にも、水稻作に匹敵する作物を選定するにも、十分な検討と実証が不可欠であり、関係機関や地元生産者とも協

議を行なう必要があります。

19年度末には1億7千335万円に減少しております。平成18年度より基

金取崩しによる運営を強いる財政上、大変厳しいものがあります。

10月末現在で、国保加入世帯数4千

171世帯のうち、滞納世帯数は43世帯で、割合は10.4%あります。今後、特に子供のいる世帯については、子供のみの短期被保険者証を交付いたしますが、滞納分に係る納付相談及び納付に応じていただけない場合には、「税の公平性の確保」の観点から、世帯主に対して、滞納処分などの厳しい措置をとらざるを得ないと考えています。

資格証の発行は、収納率の向上を目的として行っているものではありません。国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っているものです。

162世帯で、割合は3.9%あります。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。

そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

地元集落では、塩害の影響を少しでも回避しようと、次年度の転作田として、当該水田に麦の作付けを行っているところです。

市としては、当面、この作付け体系を見守りながら、関係機関とともに、適切な指導に心がけたいと考えて

います。

新たな作物として、ヒマワリは觀賞用としてのイメージがありますが、世

界的には重要な「油糧作物」であり、近年は品種改良も進み、国内においても油糧用としての生産が盛んに行われています。

しかし、先行事例を見ると、搾油の外注費によるコスト増から、他の販売

者との間に価格差が生じ、搾油のための設備投資や生産技術の向上が大きな課題となっているようです。

いずれにいたしましても、早期の用水の手立ては極めて困難であり、所得的にも、水稻作に匹敵する作物を選定するにも、十分な検討と実証が不可欠であり、関係機関や地元生産者とも協

議を行なう必要があります。

19年度末には1億7千335万円に減少しております。平成18年度より基

金取崩しによる運営を強いる財政上、大変厳しいものがあります。

10月末現在で、国保加入世帯数4千

171世帯のうち、滞納世帯数は43世帯で、割合は10.4%あります。今後、特に子供のいる世帯については、子供のみの短期被保険者証を交付いたしますが、滞納分に係る納付相談及び納付に応じていただけない場合には、「税の公平性の確保」の観点から、世帯主に対して、滞納処分などの厳しい措置をとらざるを得ないと考えています。

資格証の発行は、収納率の向上を目的として行っているものではありません。国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っているものです。

162世帯で、割合は3.9%あります。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。

そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

地元集落では、塩害の影響を少しでも回避しようと、次年度の転作田として、当該水田に麦の作付けを行っているところです。

市としては、当面、この作付け体系を見守りながら、関係機関とともに、適切な指導に心がけたいと考えて

います。

新たな作物として、ヒマワリは觀賞用としてのイメージがありますが、世

界的には重要な「油糧作物」であり、近年は品種改良も進み、国内においても油糧用としての生産が盛んに行われています。

しかし、先行事例を見ると、搾油の外注費によるコスト増から、他の販売

者との間に価格差が生じ、搾油のための設備投資や生産技術の向上が大きな課題となっているようです。

いずれにいたしましても、早期の用水の手立ては極めて困難であり、所得的にも、水稻作に匹敵する作物を選定するにも、十分な検討と実証が不可欠であり、関係機関や地元生産者とも協

議を行なう必要があります。

19年度末には1億7千335万円に減少おります。平成18年度より基

金取崩しによる運営を強いる財政上、大変厳しいものがあります。

10月末現在で、国保加入世帯数4千

171世帯のうち、滞納世帯数は43世帯で、割合は10.4%あります。今後、特に子供のいる世帯については、子供のみの短期被保険者証を交付いたしますが、滞納分に係る納付相談及び納付に応じていただけない場合には、「税の公平性の確保」の観点から、世帯主に対して、滞納処分などの厳しい措置をとらざるを得ないと考えています。

資格証の発行は、収納率の向上を目的として行っているものではありません。国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っているものです。

162世帯で、割合は3.9%あります。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。

そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

地元集落では、塩害の影響を少しでも回避しようと、次年度の転作田として、当該水田に麦の作付けを行っているところです。

市としては、当面、この作付け体系を見守りながら、関係機関とともに、適切な指導に心がけたいと考えて

います。

新たな作物として、ヒマワリは觀賞用としてのイメージがありますが、世

界的には重要な「油糧作物」であり、近年は品種改良も進み、国内においても油糧用としての生産が盛んに行われています。

しかし、先行事例を見ると、搾油の外注費によるコスト増から、他の販売

者との間に価格差が生じ、搾油のための設備投資や生産技術の向上が大きな課題となっているようです。

いずれにいたしまでも、早期の用水の手立ては極めて困難であり、所得的にも、水稻作に匹敵する作物を選定するにも、十分な検討と実証が不可欠であり、関係機関や地元生産者とも協

議を行なう必要があります。

19年度末には1億7千335万円に減少おります。平成18年度より基

金取崩しによる運営を強いる財政上、大変厳しいものがあります。

10月末現在で、国保加入世帯数4千

171世帯のうち、滞納世帯数は43世帯で、割合は10.4%あります。今後、特に子供のいる世帯については、子供のみの短期被保険者証を交付いたしますが、滞納分に係る納付相談及び納付に応じていただけない場合には、「税の公平性の確保」の観点から、世帯主に対して、滞納処分などの厳しい措置をとらざるを得ないと考えています。

資格証の発行は、収納率の向上を目的として行っているものではありません。国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っているものです。

162世帯で、割合は3.9%あります。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。

そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

地元集落では、塩害の影響を少しでも回避しようと、次年度の転作田として、当該水田に麦の作付けを行っているところです。

市としては、当面、この作付け体系を見守りながら、関係機関とともに、適切な指導に心がけたいと考えて

います。

新たな作物として、ヒマワリは觀賞用としてのイメージがありますが、世

界的には重要な「油糧作物」であり、近年は品種改良も進み、国内においても油糧用としての生産が盛んに行われています。

しかし、先行事例を見ると、搾油の外注費によるコスト増から、他の販売

者との間に価格差が生じ、搾油のための設備投資や生産技術の向上が大きな課題となっているようです。

いずれにいたしまでも、早期の用水の手立ては極めて困難であり、所得的にも、水稻作に匹敵する作物を選定するにも、十分な検討と実証が不可欠であり、関係機関や地元生産者とも協

議を行なう必要があります。

19年度末には1億7千335万円に減少おります。平成18年度より基

金取崩しによる運営を強いる財政上、大変厳しいものがあります。

10月末現在で、国保加入世帯数4千

171世帯のうち、滞納世帯数は43世帯で、割合は10.4%あります。今後、特に子供のいる世帯については、子供のみの短期被保険者証を交付いたしますが、滞納分に係る納付相談及び納付に応じていただけない場合には、「税の公平性の確保」の観点から、世帯主に対して、滞納処分などの厳しい措置をとらざるを得ないと考えています。

資格証の発行は、収納率の向上を目的として行っているものではありません。国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っているものです。

162世帯で、割合は3.9%あります。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。

そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

地元集落では、塩害の影響を少しでも回避しようと、次年度の転作田として、当該水田に麦の作付けを行っているところです。

市としては、当面、この作付け体系を見守りながら、関係機関とともに、適切な指導に心がけたいと考えて

います。

新たな作物として、ヒマワリは觀賞用としてのイメージがありますが、世

界的には重要な「油糧作物」であり、近年は品種改良も進み、国内においても油糧用としての生産が盛んに行われています。

しかし、先行事例を見ると、搾油の外注費によるコスト増から、他の販売

者との間に価格差が生じ、搾油のための設備投資や生産技術の向上が大きな課題となっているようです。

いずれにいたしまでも、早期の用水の手立ては極めて困難であり、所得的にも、水稻作に匹敵する作物を選定するにも、十分な検討と実証が不可欠であり、関係機関や地元生産者とも協

議を行なう必要があります。

19年度末には1億7千335万円に減少おります。平成18年度より基

金取崩しによる運営を強いる財政上、大変厳しいものがあります。

10月末現在で、国保加入世帯数4千

171世帯のうち、滞納世帯数は43世帯で、割合は10.4%あります。今後、特に子供のいる世帯については、子供のみの短期被保険者証を交付いたしますが、滞納分に係る納付相談及び納付に応じていただけない場合には、「税の公平性の確保」の観点から、世帯主に対して、滞納処分などの厳しい措置をとらざるを得ないと考えています。

資格証の発行は、収納率の向上を目的として行っているものではありません。国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っているものです。

162世帯で、割合は3.9%あります。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。

そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

地元集落では、塩害の影響を少しでも回避しようと、次年度の転作田として、当該水田に麦の作付けを行っているところです。

市としては、当面、この作付け体系を見守りながら、関係機関とともに、適切な指導に心がけたいと考えて

います。

新たな作物として、ヒマワリは觀賞用としてのイメージがありますが、世

界的には重要な「油糧作物」であり、近年は品種改良も進み、国内においても油糧用としての生産が盛んに行われています。

しかし、先行事例を見ると、搾油の外注費によるコスト増から、他の販売

者との間に価格差が生じ、搾油のための設備投資や生産技術の向上が大きな課題となっているようです。

いずれにいたしまでも、早期の用水の手立ては極めて困難であり、所得的にも、水稻作に匹敵する作物を選定するにも、十分な検討と実証が不可欠であり、関係機関や地元生産者とも協

議を行なう必要があります。

19年度末には1億7千335万円に減少おります。平成18年度より基

金取崩しによる運営を強いる財政上、大変厳しいものがあります。

10月末現在で、国保加入世帯数4千

171世帯のうち、滞納世帯数は43世帯で、割合は10.4%あります。今後、特に子供のいる世帯については、子供のみの短期被保険者証を交付いたしますが、滞納分に係る納付相談及び納付に応じていただけない場合には、「税の公平性の確保」の観点から、世帯主に対して、滞納処分などの厳しい措置をとらざるを得ないと考えています。

資格証の発行は、収納率の向上を目的として行っているものではありません。国保事業運営の独立性、健全性並びに公平性を保つために、やむなく行っているものです。

162世帯で、割合は3.9%あります。

**■北潟湖の水質変化の原因と対策について**

- ・塩分濃度の上昇の原因について
- ・湖水を水源としている水田への今後の対策について
- ・新たな作物の指導について

答

特に、この夏、太平洋高気圧と別の高気圧が長きにわたり西日本を覆い、好天が続いたことが、大きく影響したものと考えています。

開田橋における水位の状況であります。4月から9月まで、常に下流側の水位が高く、特に、5月上旬から8月下旬までの間、その差は顕著となっています。

そのため、北潟湖の塩分濃度が低下する要素は認められず、本年は、稻作にとって極めて厳しい環境であったと考えています。

議会日誌

10月6日	中学校建設調査特別委員会視察
7日	総務常任委員会視察
11月4日	中学校建設調査特別委員会
15日	決算審査特別委員会
20日	決算審査特別委員会
23日	総務常任委員会
25日	中学校建設調査特別委員会
26日	教育厚生常任委員会協議会
27日	決算審査特別委員会
28日	中学校建設調査特別委員会
29日	決算審査特別委員会
30日	全員協議会
12月2日	全員協議会
9日	議会運営委員会
10日	議会運営委員会
11日	議会運営委員会
12日	議会運営委員会
13日	議会運営委員会
14日	議会運営委員会
17日	議会運営委員会
18日	全員協議会
19日	第34回議会臨時会
26日	第35回議会定例会開会
9日	第35回議会定例会・一般質問
10日	広報編集特別委員会
10日	総務常任委員会
11日	産業建設常任委員会
12日	教育厚生常任委員会
17日	議会運営委員会
18日	全員協議会
18日	第35回議会定例会閉会
25日	広報編集特別委員会
26日	広報編集特別委員会

# ふるさと探訪

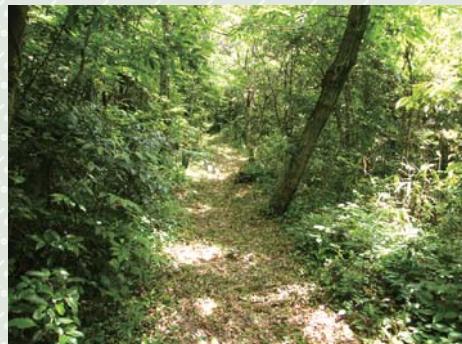
「浜街道」は、旧大聖寺藩の藩有林の中にある、現在は国が管理する北潟国有林となっています。約400mの長さに渡って往時の姿をとどめ、日本海の潮騒と野鳥のさえずりを聞きながら、森林浴とハイキングを楽しむことができます。

この街道がいつ頃にできたかは定かではありませんが、海運で栄えた三国港より旧雄島村を通り、梶浦、崎浦の海岸沿いを経て波松地区を通り、北潟・吉崎を経て加賀の国へと抜ける最短コースであったのではないかと思われます。古くから利用されていることの証として、既に平安時代末期の源平盛衰記にも書かれており、源平の強者達が幾度となく往来したことでしょう。

時代は経て戦乱の世、吉崎御坊が建立されてから現代まで続いている蓮如忌（通称：吉崎詣り）と向かう、福井市川西地区や三国町の善男善女が、この古道を通っておりました。

ちょうど吉崎御坊から一里（4km）にあたる場所の波松地区に地蔵様が祀られており、通行者の目標と休憩の場となっていたようで、昭和30年代前半頃までは実際にこの古道が利用されておりました。

道の登り下りには、ボランティア活動をされている案内の方と一緒に街道特有の切通しも体験できますので、是非一度ハイキングを楽しんでみてください。



浜街道

編集後記

新聞の投稿欄に「幼稚な、日本で一番大切な会議」と題した

著者の声が車に流れたり就職活動が目前に迫った大学の声で「日本で一番大切な会議」とは、彼曰く、国会であり、政治家の出身大学は優秀といわれる大学が多く、政治家は国を動かすに足る人材ばかりと思つていたが、現実は首相の失言だけに焦点を当てた質疑で、あまりにも幼稚に見えたのでしよう。

就職に備えて、無関心だった政治にも目を向け、この不況下、景気対策等の鋭い質問を期待していたのだろう。ところが、彼が見たものは、首相の揚げ足と今、まさに国民一丸となり、スクラムを組んで笑って乗り切りたいものである。

私達、あわら市の議員一人一人が政治判断の土台をどこに置くのかが、今後、確実に問われるだろう。

市議会広報編集特別委員会  
委員長 副委員長 委員  
八牧 向山 信孝  
笠原 田中 重幸  
大木 秀雄  
篠下 修一  
宮崎 嶋信  
崎巖 修男

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局  
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.fukui.jp

